

科目名 診療の補助技術Ⅱ 時間割表記名 診療の補助技術Ⅱ	配当時期 2年次前期 単位数 1単位 時間数 15時間(8回)	講義担当者 筒井 雅子 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 演習前には技術の動画を視聴する。テキストと動画を活用しながら、技術の根拠を含めた手順をレポートにまとめる。			
授業目標 1. 検査を受ける患者の心理を理解し、苦痛を最小限にする援助について理解できる。 2. 検査の目的と方法を理解し、検査に必要な基本的技術が習得できる。 3. 検査における看護の役割が理解できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	検査を受ける患者の看護 1)検査の目的と種類(検体検査、生体検査) 2)検査を受ける対象の心理 3)検査における看護師の役割 検体検査時の援助 1)尿検査の介助と実際 2)便検査時の介助 3)血液検査の介助と実際	講義	テキスト①②③④ 資料
2	生体検査時の援助 1)X線、CT、MRI 2)内視鏡検査(気管支鏡検査、上下部消化管検査)胃透視 3)超音波検査 4)心電図検査 5)肺機能検査	講義 グループ学習	テキスト①②③ 資料
3 4	静脈血採血の実際 1)採血に必要な物品の取り扱い 2)駆血帯の取り扱い 3)採血管・採血針の取り扱い 4)採血の方法 【シミュレーターを使用した採血】	演習(技術) グループ学習	テキスト①②③④ 資料
5	検査・注射の実際 【血糖測定・インスリン注射】	演習(技術)	テキスト①②③④ 資料
6	穿刺を受ける患者の看護 1)胸腔穿刺 2)腹腔穿刺 3)腰椎穿刺 4)骨髄穿刺	講義	テキスト①②③ 資料
7	技術試験(採血)	試験(技術)	

8	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
<p>受講上の注意</p> <p>○看護機能形態学や基礎看護技術論、日常生活援助技術Ⅲ、診療の補助技術Ⅰ 臨床薬理学の学習を活用しながら学ぶため、復習をしておく。</p> <p>○各自、技術が習得できるよう練習を行う。ただし、針を使用するときは、教員の見守りの下、練習を行う。</p>			<p>評価方法</p> <p>技術試験 筆記試験 レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 臨床看護学総論</p> <p>③看護技術プラクティス 学研</p> <p>④看護がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア</p> <p>参考文献</p> <p>①オールカラービジュアル 基礎看護技術ガイド 照林社</p> <p>②根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院</p>			